

接待等の飲食に関する社内アンケート結果報告

放送業界の人権問題に関する一連の報道を受けて、弊社では全社員を対象に「接待等の飲食に関する社内アンケート」を実施しました。その中で「タレントの接待と
感じる食事会」についても尋ねました。

結果、弊社では性的ハラスメントや人権問題に該当する事案は確認されませんでした。

この社内アンケートでは、タレントとの食事会に限らず「断りたかったが、断ることができなかった食事会」等についても尋ねました。その結果、「参加を断ることができなかった食事会がある」「飲食の場で不快な思いをしたことがある」等の回答がありました。性的被害に繋がる事案ではありませんでしたが、食事会等の参加依頼の社内ルールを再確認し、社員で共有しました。個人の意思の尊重を徹底し、飲食での不快と感じる状況や危険をはらむ状況を作らないように社員一同対処していく所存です。

弊社では、社員ひとりひとりが安心して働くことができる環境を構築することが大切だと考えております。

その実現に向け、2025年4月1日付でコンプライアンスに関する新たな社内規定を定めコンプライアンス体制の強化を図りました。

ハラスメント等の事案が発生した場合の相談に関しては、外部の窓口を設置して、相談しやすい環境を整えました。社員だけでなく弊社の関係の皆さまも含め、人権を脅かす行動、ハラスメント、不適切行為がないように一層の取り組みを続け、対策を強化していきます。

弊社は今後も企業活動における人権問題に真摯に向き合い、企業としてのコンプライアンス遵守、社員ひとりひとりのコンプライアンス意識の向上に努めてまいります。